

八戸情歌

作詩 礼 恭司

作曲 佐藤 晋一

海沿いの この町は
漁火が ゆれてます
なだらかな 台地を切って
海へと注ぐ 馬淵川まがせ
あなたと出逢った 港町まちだから
好きです八戸 海の町

海原を 白く染め
ウミネコが 今日も舞う
花の咲く 浜道がはみちあたり
歩いたあの日 蕪島うすま
あなたと暮らした 港町まちだから
離れることなど 出来ません

ふるさとの やさしさは
母の手に 似ています
陽だまりに 可憐にゆれる
はまなす野菊 ゆめゆめの花
あなたが愛した 港町まちだから
好きです八戸 海の町